

基本計画審議会 会長・審議会委員、事務局のみなさまへ

## 基本計画審議会にむけて

2024年9月4日

審議会議員（議会選出）ぬかが和子

本日の審議会について、外せない予定があり出席できないため、文書で発言を行わせていただきます。共有していただくことを望みます。

1, 本日は、区長への答申、および感想交流を行うと伺いました。

他の委員の方々からも学ぶことの多い素晴らしい審議会でした。学識の先生方の差配のもと、自由で前向き、かつ積極的な議論がおこなわれたことに感謝を申し上げます。

2, 答申案について

(1) 基本計画答申では基本理念として、「区民の『やってみたい』想いを支える」「社会的孤立のおそれがあるひきこもりや壮年期単身者・高齢者など年齢特性の関わらず、あらゆる手法でつながり居場所を形成。サードプレイス（第三の居場所）を世代や特性を超えて一体となるまちの基盤としていく」「区民の命と暮らしを守りウェルビーイングを高める」「人権と多様性を尊重し、互いを認め合う」「こども・若者と一緒にまちをつくる」「あらゆる施策の中で環境負荷軽減を意識するとともに、区民意識を啓発し、まち全体となって環境対策を進める」「SDGsの視点を反映」など、議論してきたことが反映され、結実しています。

区におかれましては、この答申の精神が、区施策の隅々までいきわたるようしていただきたいと存じます。

(2) 施設の再配置・長寿命化について

審議会では活発な議論が行われましたが、時間や回数等の制約から十分にできなかった分野もありました。施設の更新が相次ぐ中、今後、以下のことを重視していただきたく、区に要望いたします。

① 区民施設は、図書館・地域学習センター・住区センター…どれも、地域にとっては

「集える貴重な公共施設」です。文化・スポーツなど様々なニーズにこたえられるようにすべきです。例えば新規建設された西新井センターの会議室は、「防音施設がないから合唱は認められない」となっている。例えば、どの施設でも、ある程度の防音設備を整える、ギャラリーとして活用するなどし、汎用性をもつことを基本方針としていただきたい。

②学校だけでなく、特養ホームなど区施設の建て替えの場合、仮設施設が大きな課題になっています。区は各建て替え毎に対応するといいますが、実際には場当たりの対応になっている。費用対効果も鑑み、例えば統一した仮設施設を設け順次行うなど、方針を明確にして計画的に建て替えをすることを位置づけていただきたい。

(3) 各分野別視点のうち、「行財政」分野では、人口減少を強調し、「業務の効率化だけでなく事業の統廃合も含めた戦略的な行財政運営」と打ち出しています。審議の経過から見ると、審議会委員からの主張というより、答申案で突如事務局から出された感が否めません。事業の統廃合は決して戦略的な行財政運営とはいえず、基本理念とも矛盾することになりかねず、計画から削除すべきと考えます。

現段階で、審議会答申を翻すという意味ではなく審議会答申案を尊重いたしますが、このような意見があったことも記録に残していただくよう要望いたします。

以上